



雨の中、山頂で記念撮影する登山者

### 待ちに待った磐梯山開き

シーズン中の無事故を祈願

福島県を代表する名峰磐梯山の第68回山開きが6月15日に行われました。山開きは、5月25日を予定していましたが、残雪の影響で延期になっていました。猪苗代登山口では、安全祈願式典が行われ、シーズン中の無事故を祈願。この日予定していた青空郵便局と猪苗代観光協会による自然環境保護へのメッセージ募集は、悪天候のため、中止になりました。記念のペナントとはがきは、各登山口などで配られました。

### 花で彩り観光客をおもてなし

猪苗代駅前広場花植え事業

町の「猪苗代駅前広場花植え事業」は6月17日、猪苗代駅前広場で行われ、ひまわりこども園の園児や老人クラブ連合会員らが花壇を花で彩りました。

この事業は、四季折々の花で来町する観光客をもてなし、駅前の活性化を図るため、昨年からのスタート。駅前広場と駅に隣接する扇田公園の花壇計124平方メートルにベゴニアやマリーゴールド、サルビアの苗を合わせて約2千本植えました。



花壇に丁寧に花の苗を植える園児



高得点を狙いスティックでボールを打つ参加者

### スポーツで健康増進を図る

町高齢者スポーツ大会

町高齢者スポーツ大会は6月19日、町総合体育館で開かれ、町内6地区から約50人が参加しました。開会式では、翁島地区を代表して鈴木民男さんが選手宣誓。競技は、「スカットボール」「ラダーゲッター」「ワナゲ」「フライングディスク」のニュースポーツ競技4種目で争われ、月輪地区の櫻田モトさんが優勝しました。参加者は、仲間たちと一緒に心地よい汗を流し、スポーツを通じて健康増進を図りました。

### 好天の中、ゴール目指す

町健康マラソン大会

町健康マラソン大会は6月22日、町運動公園で開かれ、男女別や学年別、リレーなど23部門に未就学児から大人まで約350人がエントリーし、健脚を競いました。天候にも恵まれ、参加した選手たちはそれぞれ自己ベストを目指して力走。会場には、選手を応援するため、多くの人が駆けつけました。今年は町合併70周年を記念した特別種目「70を拾え」を実施。会場にいた人たちが大勢参加し、競技を楽しんでいました(関連4ページ)。



優勝目指して親子で一斉にスタート



地域の魅力をアピールするDMC aizuのスタッフ(中央)ら

### シドニーでインバウンド誘客

豪州スノーエキスポで観光PR

本町と磐梯町、北塩原村の3町村で構成する磐梯山周辺観光推進連絡協議会は5月25日、豪州シドニーで開かれたスノーエキスポで地域の魅力をPRしました。豪州スノーエキスポは南半球最大のスキー博で、日本やカナダ、ヨーロッパ諸国など約80のスキーリゾート地が参加し、ブースでのプロモーションや商談などを行いました。内堀雅雄福島県知事がトップセールスをしたほか、猪苗代スキー場などを運営するDMC aizuも出展しました。

### 小学生が亀ヶ城公園を駆け抜ける

猪苗代キッズトレイルランレースが初開催

小学生を対象とした猪苗代キッズトレイルランレースは6月7日、亀ヶ城公園をスタート・ゴールとするコース(1~2キロ)で初めて開かれ、ランナーたちが新緑の公園内を駆け抜けました。1・2年生女子の部では猪苗代M et'sの六角みのりさん、3・4年生女子の部で猪苗代T & Fの南波莉緒さん、5・6年生男子の部で猪苗代スポ小陸上部の神田千尋さん、同女子の部で猪苗代M et'sの六角優那さんが優勝しました。



坂道を懸命に走るランナー



賀寿などを受けた本多さん(中央)

### 本多シンさんが100歳に

長寿を祝い、賀寿などを贈呈

6月12日に100歳の誕生日を迎えた本多シンさん(松橋)への賀寿贈呈式は同日、本多さんの自宅で行われ、家族らが長寿を祝いました。二瓶盛一町長が県からの知事賀寿と会津漆器の木杯、町からの賀詞と敬老祝金を手渡しました。本多さんは「長寿の秘訣は、好き嫌いなく3食しっかり食べること。日々の楽しみは、おやつを食べること」と話してくれました。本多さん、いつまでもお元気にお過ごしください。

### 来館者70万人を達成

アクアマリンいなわしろカワセミ水族館

アクアマリンいなわしろカワセミ水族館では6月14日、開館から10周年の節目の年に、来館者70万人を達成しました。同日に行われたセレモニーでは、同水族館の岩田雅光館長らがあいさつ。70万人目となった茨城県那珂市の佐藤晃さん家族に、町と同水族館から記念品が贈られました。小学5年生の佐藤春翔さんは「カワセミを見に来ました。70万人目でびっくりしました。しっかり観察したいです」と話しました。



記念品を受けた佐藤さん家族